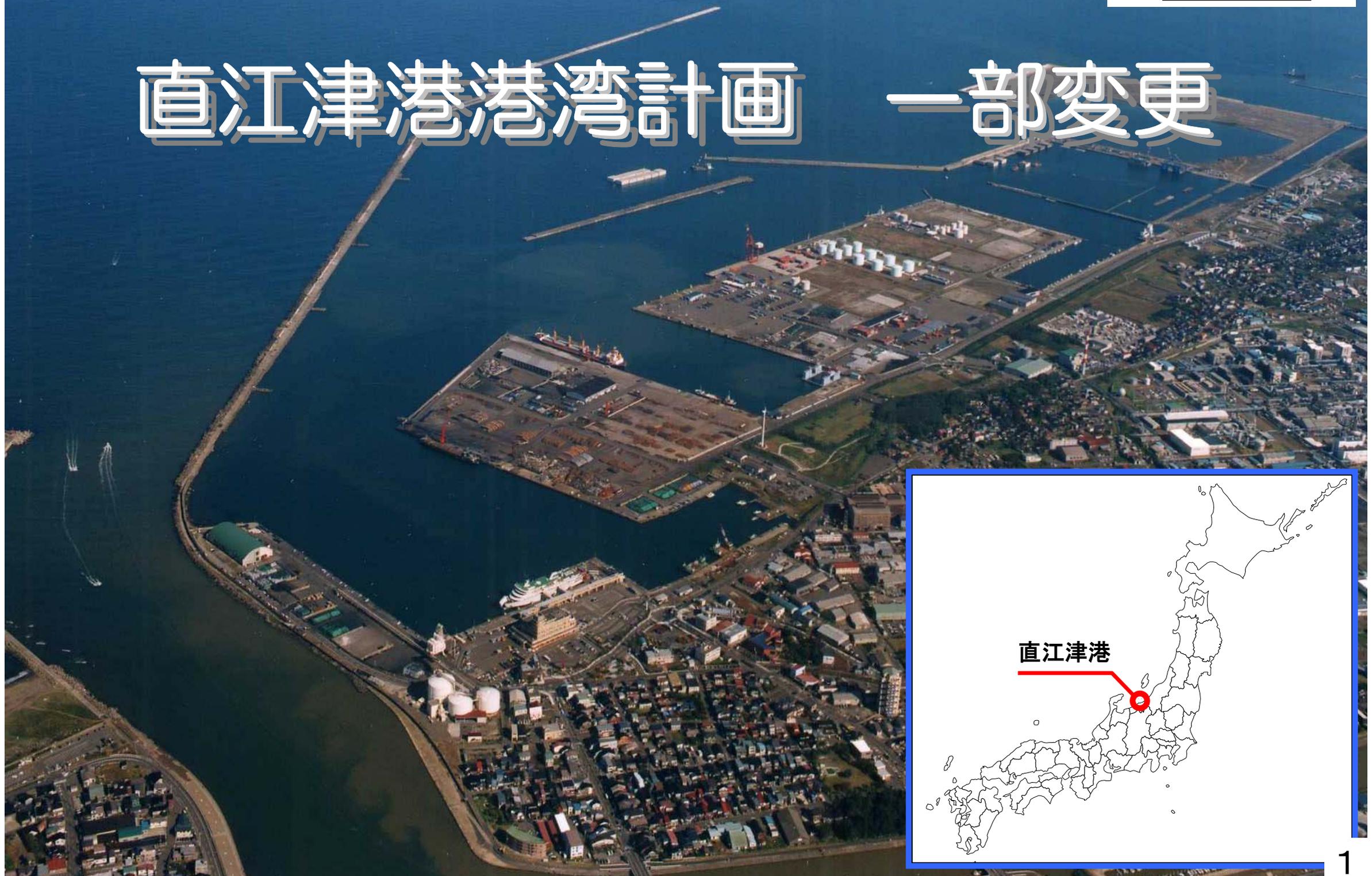


# 直江津港港湾計画 一部変更



# 直江津港港湾計画 一部変更

## 〈背景〉

### ○新規貨物の増大

- ・対岸諸国の経済発展に伴うリサイクル関連貨物の輸出増加
- ・自動車関連部品等の需要拡大によるアルミニウムインゴットの輸入増加

### ○耐震強化岸壁の早期整備

- ・新潟県南西部・長野県北部は大規模地震の切迫性が高い地域

表1 直江津港におけるリサイクル関連貨物等の推移

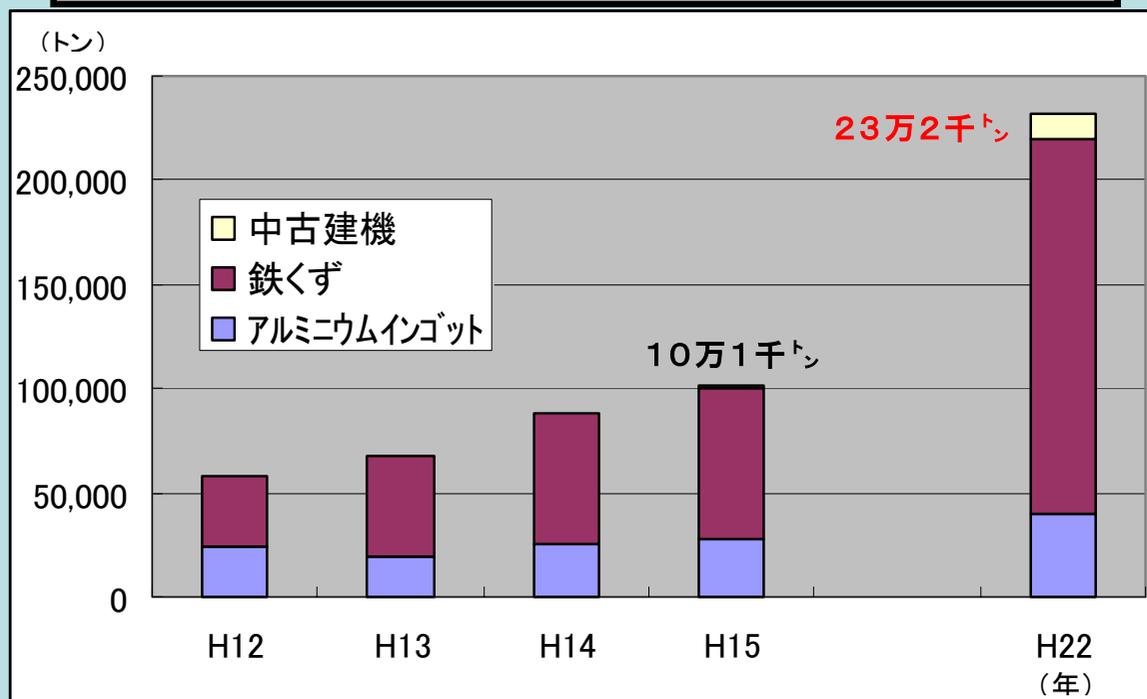
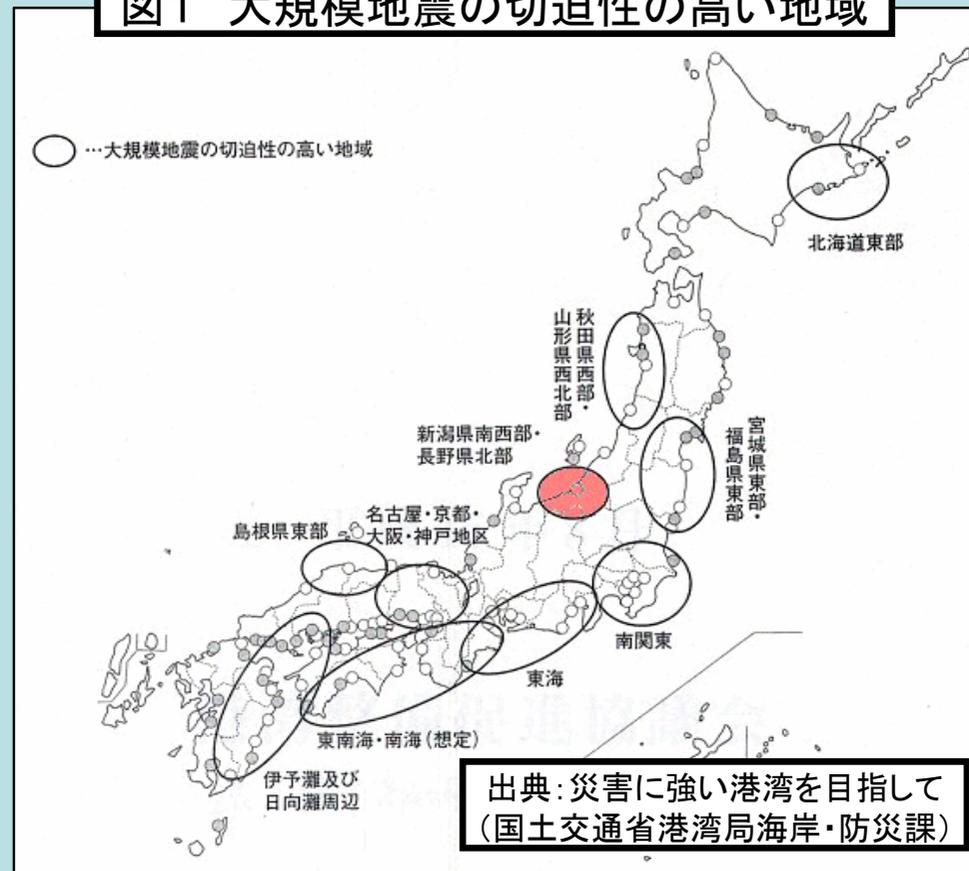


図1 大規模地震の切迫性の高い地域



## 〈課題〉

○新規貨物は、既存のふ頭用地や岸壁の空きスペースを利用しており、同一貨物の分散利用、既存貨物との混在等による非効率な運用を強いられている

○既定計画における耐震強化岸壁（東3号岸壁）は、長距離フェリーが定期就航しており、現状の利用形態を確保しながら整備することは困難

スクラップ

木材

貨物の混在

フェリー2隻同時着岸

## 〈対応〉

### 東ふ頭4号岸壁の機能強化

- 新規貨物の集約とこれに対応した岸壁の増深、ふ頭用地の拡大
- 耐震強化



# 計画変更の内容

## 港湾取扱貨物量の上方修正

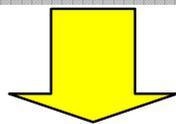
2, 520万t → 2, 540万t

(うち新規貨物 H22: 232千t)

金属くず・再生利用材 0t → 180千t

アルミニウムインゴット 0t → 40千t

中古建設機械 0t → 12千t



## 岸壁水深の増深・延長の延伸・耐震強化

東ふ頭4号岸壁

水深 -7.5m → -10m

延長 130m → 170m

耐震強化

## 土地利用計画の変更

東ふ頭4号岸壁背後 ふ頭用地 1.4ha

港湾関連用地 5.1ha

